

令和6年度から令和9年度
小学校において使用する教科用図書の
採択結果について

令和5年9月1日

出雲採択地区教科用図書採択協議会

出雲採択地区教科用図書採択協議会では、令和6年度から令和9年度に使用する小学校教科用図書について、2回の採択協議会を開催し、研究調査員による研究調査資料を参考に、採択の観点にしたがって、各発行者の検定合格図書を総合的に比較・検討しました。

採択結果等は、下記のとおりです。

記

I 令和6年度～令和9年度使用 小学校教科用図書の採択結果

種 目	発 行 者 名
国 語	東京書籍 株式会社
書 写	教育出版 株式会社
社 会	東京書籍 株式会社
地 図	株式会社 帝国書院
算 数	東京書籍 株式会社
理 科	東京書籍 株式会社
生 活	東京書籍 株式会社
音 楽	株式会社 教育芸術社
図画工作	開隆堂出版 株式会社
家 庭	東京書籍 株式会社
保 健	株式会社 文教社
英 語	東京書籍 株式会社
特別の教科 道徳	東京書籍 株式会社

Ⅱ 採択の観点

【各教科共通】

- 1 記述された内容、程度が、児童の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
- 2 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- 3 児童が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- 4 各教科の特性が生かされ、地域の実態や課題に適合しているか。
- 5 各教科等における資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
- 6 その他、1～5の観点では表現できない特筆すべき事項

Ⅲ 採択する教科用図書の特長

1 国語（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

①5・6年では、中学校への移行を考慮し、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊でなく1冊の教科書で対応している。

②1年上では、助詞の働きを視覚的にとらえて理解しやすいよう、更に工夫されている。（1年上 p. 36, 44, 54）

(2) 教材の選択や構成等

①2年以上は4月を学習の基盤づくりの期間として、対話、情報の扱い、音読、ノート作り、図書館活用を単元の中に位置づけている。

②説明文の次に事実と考えの違いや相手を意識した意見文の書き方の学習（「情報のとびら」）が配列されている。（5年 p. 228）

(3) 興味・関心を高める工夫

①「話す・聞く」や「書く」単元では、氏名まで設定されたキャラクターが登場し、児童が親近感をもって学習できるよう工夫されている。（6年上 p. 116）

②説明文では内容の理解を助ける写真や挿絵が多く、児童の興味・関心につなげる工夫がされている。（2年下 p. 8）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

①「地域のみりよくを伝えよう」では、自分が住む地域を調査し、記事にすることで、ふるさと教育の視点につながる内容になっている。（5年 p. 58）

②高学年では、複数の資料を読み取って多角的な見方や自分の考えをもつ力を育成する工夫がされている。（5年 p. 238）

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

①「はたらく人に話を聞こう」では、学校で働く人にインタビューする言語活動が設定され、生活科の町探検との関連が図られている。（2年上 p. 34）

②高学年では、インターネットなど、現代社会におけるメディアリテラシーを獲得する単元が設定されている。

(6) その他

①読書単元「〇年生の本棚」では、著名人のエッセイなど、読書への興味・関心を高める工夫がされている。

②文字習得でつまずきやすい特殊音節や助詞の学習負担を軽減できるよう、「多層指導モデル（MIM）」を取り入れている。（1年上）

(7) 総括

①多数のデジタルコンテンツやWeb問題が準備されており、教材理解につながる支援が手厚い。

②2年以上は単元の始めに「見通す・取り組む・ふり返る」の3段階で学習の流れが示されている。単元で身に付ける言葉の力が提示され、学習計画に活用できるよう工夫されている点が、特に優れている。

2 書写（教育出版 株式会社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①全学年 B5 判、右ページに単元名と文字のみを、左ページにポイントを配置している。
 - ②巻頭に授業の様子や手書きの文字のカラー写真を配置し、学習の見通しをイメージできるように工夫されている。
 - ③様々な点画を、段階を追って無理なく学べるよう、教材が配置されている。
- (2) 教材の選択や構成等
 - ①1年では、「ますのなかのかくところ」を教材として取り上げ、小さく書く文字の位置を確認しやすいよう工夫されている。
 - ②あこがれ(5年)、横画(3年)では、見開き2ページにわたり、穂先の動きを写真や図で示し、ポイントが丁寧に説明され分かりやすい。
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①友だちの名前や好きな俳句など、学びを生かして自分で選んだ言葉を書けるように促している。(1年、3年)
 - ②4年「文字の組み立て方」では、自分の課題にあった学習方法が選択できるよう工夫されている。
 - ③3年では、毛筆を学習する意義を漫画や写真で説明することで、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①3年以上では、筆圧を3段階に分け、数字と図で分かりやすく示したり、朱墨と薄墨を使った図を大きく配置したりすることによって、穂先の動きや筆圧のかけ方がとても捉えやすくなっている。
 - ②5年、6年「知りたい文字の世界」では、生活とのつながりから、文字文化への興味・関心を高めるような工夫されている。
- (5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫
 - ①「レッツトライ」では、習得した書写の力を他教科で使う学習を示し、関連を図ることができるように工夫されている。
 - ②「はってん」では、先の学年の学習への興味・関心や見通しがもてるように工夫されている。(2年、6年)
 - ③書く時の姿勢や筆記具による持ち方の違いなどが非常に分かりやすく示されている。
- (6) その他
 - ①手書きに近いUDフォントの採用、判別しやすい配色やレイアウトなど、全ての児童にとって学びやすい配慮がなされている。
 - ②デジタルコンテンツが豊富で、学年に応じて効果的に活用できる。
 - ③ふりかえりの場面で対話的な学びができるように工夫されている。
- (7) 総括
 - ①全学年とも、情報量が豊富で、学習のポイントを詳しく丁寧に説明している。
 - ②他には見られない斬新な表紙のデザインで、学習への期待感をかきたてている。
 - ③「試し書き」→「考える」→「確かめ」→「まとめ書き」の順で学習を構成し、自己の変容を確かめることができるようになっており、特に優れている。

3 社会（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

①「学びのポイント」により、授業でどのような活動を行えばよいか分かりやすく示されている。

（3年 p. 25※各学年に掲載）

②社会科の4つの「見方・考え方」が、キャラクターのイラストで示され、個々の見方・考え方を働かせやすくなっている。（3年 p. 24※各学年に掲載）

(2) 教材の選択や構成等

①「いかす」で、実生活にどう生かしていくのかを多面的な意見をもとに考える構成ができています。

（6年政治・国際編 p. 106-107）

②「まとめる」段階でのQRコードを活用すると、発達や内容にあったまとめ方を示すワークシートや思考ツール等が準備できるようになっている。（5年上 p. 31）

(3) 興味・関心を高める工夫

①学習場面に応じて活用できる多様な資料が用意されており、興味・関心を高められるよう工夫されている。（4年 p. 131）

②「いかす」場面では、学習したことを活用して社会的な事柄に参画したり提案発信したりする学習活動が紹介されている。（3年 p. 114-115）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

①4年「きょう土の伝統・文化と先人たち」では、松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや松江城を生かしたまちづくりの事例が取り上げられている。（4年 p. 128-129）

②6年「今に伝わる室町文化」では、雪舟が島根県を訪れたことが記載されている。（6年歴史編 p. 55）

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

①「教科書関連マーク」で、他の教科との関連が明示されており、教科横断的な視点から学習に取り組むことができるよう配慮されている。（4年 p. 142）

②「〇〇さんの話」を紙面や動画で設け、共感的に人の生き方について学ぶことができるよう工夫されている。（5年上 p. 101）

(6) その他

①4年の表紙には「津和野町の子鷺踊り」が、6年では「石見銀山」（6年歴史編 p. 73）が取り上げられている。

②資料や本文を厳選してあり、集団での学びが深まりやすくなるよう工夫されている。（6年歴史編 p. 44-45）

(7) 総括

①「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」に分けて記載し、児童が課題解決のどの過程なのかを見通しをもつことができるようにしてあること、資料等のデータを必要最小限に留めることによって、指導経験の長短に関わらず、どのような教員でも児童の課題解決活動を円滑に進めることができる、特に優れた教科書である。

4 地図（株式会社 帝国書院）

(1) 内容、程度、分量等

- ①全132ページの構成で、日本の地方別に見る地図は、土地の高低と土地利用による色分けを組み合わせて視覚的に内容を捉えやすい地図表現となっている。
- ②すべての文字にルビがふってあり、文字が大きく、行間も広く読みやすい。

(2) 教材の選択や構成等

- ①「広く見わたす地図」→日本の各地方を見る地図→世界の地図と配列し、発達の段階に応じて活用度の高い使用学年の配列になるよう配慮されている。(p. 21-30)
- ②「江戸時代のむすびつき」では、歴史的な語句と位置を確認できる他に、学習に活用できる参勤交代や江戸をテーマにした地図が掲載されている。(p. 55, 69)

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①47都道府県のデジタル地図では、地形や産業など8つの主題図を簡単に表示することができる。また、豊富なデジタルコンテンツがあり、児童の興味に応じて見ることができる。(p. 33-80)
- ②地形のようすを、土地の高さによる色分けとカラーレリーフを組み合わせで表現している。(p. 33-80)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①竹島について、中国地方のページの拡大図で位置を示しながら「日本の領土とそのまわり」では、写真と解説で紹介している。(p. 31-32, 39)
- ②石見銀山については、中国地方の地図で位置を表している他に、「日本の世界遺産」をまとめたページで紹介している。(p. 127)

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

- ①「日本の自然災害と防災」では、事例と防災・減災への取組が記され、防災意識をもち自分の行動を考えることができるように工夫されている。(p. 101)
- ②持続可能な社会の実現に向けたSDGsの特設ページが設けられ、各地の取組や課題について理解できるようにしている。(p. 125)

(6) その他

- ①世界の州別地図やアメリカ合衆国の地図には、自然や文化などの特徴を表したイラストを掲載している。(p. 93)
- ②「日本の世界遺産」では、QRコードに地図とともに全ての世界遺産のカラー写真が掲載されており、視覚的に理解することができる。(p. 127)

(7) 総括

- ①地形のようすが捉えやすくなるように、立体感のある地図表現にしている。
- ②各種地図の配色や文字の大きさなどが読み取りやすく作られている点で特に優れている。また、発達段階や用途に応じて使いやすい構成になっている点も特に優れている。

5 算数（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①つまづいた子どもが解決の見通しをもてるように、子どもの考えのヒントになるような考え方を吹き出しにして示している。
- ②見方、考え方について、虫メガネのマークで明記している。

(2) 教材の選択や構成等

- ①導入問題を、図や言葉、式で整理して一般化を図っている。
- ②割合の素地指導に重点を置いて、構成している。（4年上P.113）
- ③6年生「データの活用」の学習で、長縄大会の優勝チームを一人ひとりが予想できる構成にすることで、対話が生まれる工夫がされている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①興味・関心を引き出すオープニングムービーが構成されている。QRコードから、動画を閲覧できる。
- ②子どもに身近なものから、多角形や円といった図形を見い出し、学習を展開していく工夫がみられる。（5年下p.96）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「既習を生かして考えることを促す」と「同じように考えると」があり、統合的に考えることができるように構成されている。（4年上p.84）
- ②学習したことを基に、発展的に考えることを促す「それなら」の吹き出しが作られている。

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

- ①具体的な生活場面から導入を展開している。
- ②割合を求めるのに必要な2量を見い出すことから学習を展開しており、数学化のプロセスを子ども自ら展開できるようにしている。
- ③「算数で読みとこう」という特設ページが設けられ、実生活に算数を生かして考えられるように構成されている。

(6) その他

- ①複式の年間指導計画が立てやすいように関連する内容の単元を同時期に実施できるよう配置されている。
- ②保幼小の円滑な接続を重視し、1年の教科書では、ブロックを直接置くことができるようになっている。

(7) 総括

- ①学習内容の系統性が数学的な見方・考え方で整理されており、数学的に考える資質・能力がよりよく育まれる構成となっている。
- ②学習内容が、図や言葉、式で整理して一般化され、子どもにとってわかりやすく使いやすい構成となっている。
- ③問題解決の過程に沿った授業が展開できるように工夫されており、特に優れている。

6 理科（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①導入をしやすいよう、各単元の始めに大きな写真を掲載し、児童が問題をつかみやすくなるよう工夫されている。(各学年 単元始め)
- ②内容が精選されており、1ページあたりの情報量を絞ることで、児童に過度な負担がないよう工夫されている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①表紙に各学年を貫く問いが記載されており、1年間で身につけさせたい力を見通せるようになっている。(各学年 表紙)
- ②1年間で学ぶ内容を領域(物化生地)ごとに整理し、児童が各領域のイメージをもてるようになっている。(各学年巻頭)

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①モンシロチョウの幼虫の実物の大きさが分かるように、鉛筆で描く活動が取り入れられている。(3年 p. 26)
- ②「物の体積と温度」の導入では鉄道のレールを例に、温度による金属の体積変化を身近な事象に結び付け、児童にとらえやすくしている。(3年 p. 127)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「流れる水のはたらき」では、斐伊川を取り上げ、児童にとって身近に感じられる内容となっている。(5年 p. 76)
- ②どの学年でもSDGsを意識した内容が巻末に取り上げられており、今日的な課題にも目を向けられるようになっている。

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

- ①「理科の世界たんけん部」では、単元のまとめ時に実生活へのつながりを意識することができるようになっている。(4年 p. 105)
- ②「広げよう理科の発想」では、その道のプロの話聞くことができ、より発展的な内容に目を向けることができる。(5年 p. 27)

(6) その他

- ①どの学年とも既習事項の振り返りができるようQRコードが配されている。(各学年 p. 3)
- ②感染症対策の面から、チャック付きポリエチレン袋を使い実験方法が工夫されている。(6年 p. 129)

(7) 総括

- ①学びを広げるため、QRコードを各ページに配し、実験の方法や資料映像、話し合いの仕方などを視聴できるようになっている。
- ②実験観察において、朱書きで安全のための配慮事項が分かりやすく明記されており、特に優れている。

7 生活（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①「保護者の皆様へ」としてスタートカリキュラムの意義や内容についての説明がある。
- ②「やってみよう」「やくそく」などの場面が右上にイラストで例示しており、生活の中で、具体的に考えることができ、活動の見通しがもてるように工夫されている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①まちたんけんマップや探検計画書などの書き方の例が大きく掲載され、見通しをもって学習に取り組むための工夫がされている。
- ②植物の育ちや校庭や町の様子を季節で比較しながら繰り返し紹介することで、気付きの質を高め、学習を深めることができるように構成されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①「いきものずかん」や「あきのおもちゃずかん」「クイズ」など、児童の興味・関心にあわせて、自ら調べることができる工夫がされている。
- ②見開きの大判のダイナミックな活動写真が取り入れてあり、児童の興味・関心を引き出し、活動意欲を高める工夫がされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「学びをふかめる」コーナーでは、試行錯誤の大切さや疑問に思ったことを尋ねに行く場面があり、学びを深める工夫がみられる。
- ②校外学習の場面では、幼児、高齢者、外国人など様々な人と協働して一緒に思いや願いを実現する活動が掲載され、インクルーシブ教育に配慮されている。

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

- ①上下巻とも最後に「かつどうべんりてちょう」が掲載されており、観察の仕方や道具の使い方など繰り返し見返し、参考にすることができる。
- ②国語や算数で学習したことを生かす場面が示しており、他教科とのつながりを意識することができるよう工夫されている。

(6) その他

- ①随所にQRコードが掲載されデジタルコンテンツが活用できる。
- ②育成を目指す資質・能力を端的な表現とマークで明示し、教師が指導と評価の一体化を意識できるように配慮されている。

(7) 総括

- ①大判の教科書で、写真やイラスト、文字が分かりやすくなっている。
- ②低学年の発達段階を考慮し、児童が学んだことを表現する場面で、多様なICT機器等の表現方法が掲載され、2年間で徐々に活動の質が高まるよう配慮されており、特に優れている。

8 音楽（株式会社 教育芸術社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①題材ごとに歌唱、器楽、鑑賞がバランスよく配列されている。（2年p.6もくじ）
 - ②学期に1回ずつ「音楽づくり」の題材を示すことで取り組みやすい内容になっている。（2年p.6もくじ）
- (2) 教材の選択や構成等
 - ①教材の配列が学期ごとに示してあり、系統立てて指導しやすくなっている。（4年p.6）
 - ②「教科書に出てくるしるし、マーク」が全学年共通にあり、児童の学習に向かう思考のながれについて見通しを持たせやすい。（1年p.30 うみ等）
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①「音楽を形づくっている要素」についてページ下の開きのところに見やすく示してある。（3年p.43）
 - ②キャラクターの吹き出しの言葉が、学習の見通しやヒントにつながっている。（6年p.21）
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①地域の芸能が裏表紙に示してあり、特に4年では「石見神楽」を掲載しており地域への愛着を深められる工夫がある。（4年裏表紙）
 - ②3年以上の「音楽づくり」において、終末では伝えあい活動を取り入れ、思いや意図を発表しあう協働的な学習を行うことができる。（6年p.31）
- (5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫
 - ①特集として「著作権」や「音楽の持っている力や役割」についての記述があり、音楽と実生活を結び付けるようにしている。（6年p.23, 43）
 - ②「うたいごう日本の歌」を特設し、世代を越え家族で音楽を楽しむことができる工夫がされている。（4年p.70）
- (6) その他
 - ①「音楽を形づくっている要素」について「ふり返り」のページで項目ごとに示してあり、扱っている教材のページも示してある。（5年p.82）
 - ②巻頭に学習内容、発達段階に応じた読み物を掲載しており、音楽への興味・関心を高められるようにされている。（3年以上の巻頭等）
- (7) 総括
 - ①個々の教材に「見つける」「考える」「歌う」など、指導のながれやポイントが分かりやすく示してあり、指導について見通しを立てやすくなっている。
 - ②音楽専科でなくても、誰もが同じ水準で指導することができる。そのための題材名の提示、教材配列についての工夫がなされている点が、特に優れている。

9 図画工作（開隆堂出版 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①扉のページに学習のねらい、1年間の題材が示され、児童は学習の見通しと意欲を持つことができる。1年は、保幼との連続性が示されている。
- ②本書の表題は、その学年で目指す児童の姿が端的に記され、児童と指導者が共通したテーマで授業に向き合える。

(2) 教材の選択や構成等

- ①古着を再利用する教材もあり、SDGsの視点を盛り込んだものとなっている。（3・4年上 p.12-13）
- ②アニメーションや動画など、描画だけでなく様々な表現方法について学ぶことができる。
- ③線による表現や墨・針金を使った表現など、抽象的な表現方法も取り上げている。（5・6年上 p.14-15, 下 p.35-39）

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①学習のねらいや助言を示すキャラクターにより、児童が意欲をもって表現活動ができる。
- ②各教材欄にQRコードがあり、準備物や授業内容について動画で確認ができる。
- ③各教材に、アイデアシート・作品カード・ふりかえりシートが用意され、発想を深めたり自己評価をしたりできる。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①出雲市の「一式かざり」（5・6年上 p.57）が掲載されており、島根県の伝統文化の良さに気づくことができる。
- ②日本各地の伝統工芸が紹介され、各地域の良さや伝統技法について触れている。3年以上は、「地域に学ぶ」「地域とつながる」「地域の材料を生かす」をテーマに造形活動を示している。

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

- ①他教科との関連学習について具体的な案が示され、教科横断的な視点で学習が構成されている。
- ②学校内だけでなく校外の自然や空間を生かした教材もあり、身近な生活の中に造形表現を見出すきっかけを与えている。

(6) その他

- ①各教材欄にQRコードがあり、表現のねらいや製作の仕方等について理解して取り組める。
- ②各題材の準備物が、ページ左上にイラストで示され、また巻末に、用具や材料の紹介が記載されており、児童が主体的に準備・製作ができる。

(7) 総括

- ①本書における地元作品の掲載は、本県の良さを再発見に繋がるとともに、図工への興味・関心をより高めるものとなっている。
- ②児童の主体的・意欲的な造形活動を支えようとする教科書づくりがされており、また、教師への支援もされている点においても特に優れている。

10 家庭（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

①全題材でデジタルコンテンツとリンクした調理や製作の基礎的な技能の動画がまとめてあり児童が確認しやすい。(p. 17)

②製作や調理において、複数の具体例が掲載され、選択できるように工夫されている。(p. 74-77)

(2) 教材の選択や構成等

①児童の思考を促す問いかけをすることで、主体的に学習を進める意欲がもてるよう工夫されている。(p. 22-24)

②各題材で「活動」の内容を順番に行うことで、問題解決的な学習がスムーズに進められるように工夫されている。(p. 28-34)

(3) 興味・関心を高める工夫

①各題材の活動1「話し合おう」では、デジタルコンテンツ「思考ツール」を活用し、考えを可視化し主体的に取り組めるように工夫されている。(p. 13)

②紙面の下部にそのページの「メモ」を示し、興味・関心を高める工夫がされている。(p. 47)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

①調理実習や製作実習等の際の衛生・安全の確認ができるように配慮されている。(p. 29)

②夏休み前には、「夏休みわくわくチャレンジ」が設定してあり、学習したことを家庭で実践できるように工夫されている。(p. 35)

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

①中学校技術・家庭(家庭分野)や他教科と関連のある学習内容を「関連マーク」で示し、関連付けや見通しがもてるように工夫されている。(p. 25, 39)

②「あなたは家庭や地域の宝物」では、学んだことを身近な地域や家庭生活で生かすよう工夫されている。(p. 129)

(6) その他

①調理・製作に必要な用具を左手で扱っている実物大の写真や動画があり、左利きの児童に配慮されている。(p. 22, 23)

②習得が難しい技能について、イラストでわかりやすく記述されている。(p. 73)

(7) 総括

①デジタルコンテンツの充実など全ての児童に配慮されている点が、優れている。

②各題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで構成されており、問題解決的な学習が進められるように工夫され、特に優れている。

1 1 保健（株式会社 文教社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①「病気の予防」では、生活習慣病のリスクと年齢の関係がグラフで分かりやすく示されている。（5・6年p.58）
 - ②毎時間、学習のめあてや流れが示してあり、見通しをもって学習できるように工夫されている。
- (2) 教材の選択や構成等
 - ①「思春期の体の変化」では、月経のしくみを視覚的に示すことにより、月毎に繰り返されることが理解しやすくなっている。（3・4年p.27）
 - ②「病気の予防」では、児童にとって最も身近で、取り組みの結果が表れやすい「歯の健康」を4ページにわたって取り上げ、資料も豊富に準備されている。（5・6年p.61-64）
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①写真を多く掲載することにより児童が興味をもてるように工夫されている。（3・4年p.23）
 - ②「毎日の生活とけんこう」では、1日の生活リズムについて、「けんこう」「ふけんこう」を明記して例示することで、児童が健康と生活リズムのつながりを意識しやすくなるように工夫されている。（3・4年p.8）
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①「交通事故の防止」について、各都道府県の交通事故の死者数、負傷者数を紹介することで、自県の実態を知ったり、他県と比較したりできるように工夫されている。（5・6年p.26）
 - ②バランスの取れた食生活では、食品に含まれる塩分や脂肪の量に着目していて、児童が身近に考えられるように工夫されている。（5・6年p.59）
- (5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫
 - ①各章の最後に「わたしの〇〇宣言」（自分の宣言を書くページ）が設けられており、学習の最後に生活実践に向けて意識できるように工夫されている。
 - ②「もっと考えよう課」では、熱中症対策を掲載し、実生活で意識できるように工夫されている。（5・6年p.44）
- (6) その他
 - ①毎時間の最後に、理解したことをもとに自分の生活の中でより実践へとつなげていけるように工夫されている。
 - ②「もっと考えよう課」では、世界各国の刑を記載するなど薬物の危険性や乱用防止について考えるための工夫がされている。（5・6年p.77）
- (7) 総括
 - ①写真の種類が豊富でサイズも大きく、視覚的に子どもたちに分かりやすくなるよう工夫されている。また、地域の実態が他の地域との比較できるような事例が紹介されるなど、子どもたちが身近に考えられるように工夫されている。
 - ②授業で学びが完結するのではなく、学びを生活とどう結びつけるのか、また、その後の生活にどう生かすのかを意識した構成になっている点が、特に優れている。

1 2 英語（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①5年のテーマは、「日本でつながるわたしたち」、6年のテーマは「世界とつながるわたしたち」となっており、発達の段階に応じた広がりのあるテーマ設定となっている。
- ②1ページ当たりに多くの活動内容が盛り込まれ、総ページ数は他社と比較して少ない構成となっており、各学年の教科書の総ページ数は、5、6年ともに8Unit96ページである。

(2) 教材の選択や構成等

- ①Our Goal の映像を単元導入時に見ることで、単元の見通しをもちながら、児童が学習に取り組めるように配慮されている。（5年 p.8）
- ②単元末に Over the Horizon を設けて、既習の学習の振り返りと異文化理解を深める資料が工夫されている。（5年 p.14-15）

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①すべての単元で児童の興味・関心を引くトピックや目的・場面・状況を伴った言語活動が設定されている。（5年 p.84、6年 p.48）
- ②写真やイラスト、QRコードを使った動画が多用されており、児童がトピックについて興味をもったり、場面を想起したりしやすいよう工夫されている。（6年 p.12）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①Unit ごとに書く活動、Sounds and Letters のページがあり、表現力を系統的・計画的に身に付けることができるよう工夫されている。
- ②Enjoy Communication では、既習表現の確認、会話の内容を広げる活動、振り返りとスモールステップで学習を進められるよう工夫されている。（5年 p.12-13）

(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫

- ①身近なことから日本の紹介へと視野が広がるよう「自分のこと→身近な地域→日本のこと」というように単元が工夫されている。
- ②総合的な学習の時間の探求課題として例示されている「環境問題」と関連した内容が取り上げられ、主体的な学びができるよう工夫されている。（6年 p.60-65）

(6) その他

- ①別冊の Picture Dictionary が2年間続けて使えることや、マイ単語を記録したり、紙面にない単語を調べたりすることで児童の自ら学ぶ力を育む工夫がされている。（別冊 p.25）
- ②中学校への移行を意識した書く活動が設定されている。（6年 p.86）

(7) 総括

- ①導入、展開、まとめの中に、無理なく5領域が組み込まれ、また丁寧な日本語表記により、児童も指導者も学習の流れがよくわかるよう工夫されている。
- ②児童が既習内容を生かし、主体的に取り組むことができる目的・場面・状況を伴った言語活動が充実している点で特に優れている。

1 3 特別の教科 道徳（東京書籍 株式会社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①「かぼちゃのつる」では道徳的価値に迫る場面でイメージがしやすいようなイラストとセリフで道徳的価値について深く考えられるようにしている。（1年 p. 78）
 - ②「見えた答案」では、人物の心情を説明する文言が削減され、児童の多様な考え方を引き出せるよう配慮されている（5年 p. 19）
- (2) 教材の選択や構成等
 - ①安全・安心「情報モラル」「いじめ」「いのち」「じぶん」という5つのユニットが、各学年ともに構成されており、道徳科の学習で扱う教材を要として、現代的な課題に取り組むことが工夫されている。
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①全教科で、朗読や字幕付きスライドショー、デジタルノートが利用できるQRコードがついており、児童の関心を高めるよう工夫されている。
 - ②低学年の教材を中心に大判の写真やパズル等児童の興味を引くような教材を扱っている（1年 p. 46, 82）
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①出雲市出身の児童が書いている本を取り上げた「愛華さんからのメッセージ」では、児童の興味を高めている。
 - ②高学年の「いじめ」について考えようでは、法律、条令を掲示し、児童の見方や考え方を広げるよう教材の配置等が配慮されている。（6年 p. 36）
- (5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫
 - ①「ふっかちゃんの町じまん」では日本各地のキャラクターも紹介されており、自分の県に興味をもち、社会科等と関連させて学習できるよう工夫されている。（3年 p. 20）
 - ②「終わらない挑戦」では環境問題について取り上げ、社会科や理科と関連で付け発展的な学びを促す工夫がある（6年 p. 138）
- (6) その他
 - ①自分の考えを可視化する「こころメーター」が全学年で利用でき、児童が多様な考えに気づくための配慮がある。
- (7) 総括
 - ①全教材でデジタルコンテンツが利用でき関心を高める工夫がされている。
 - ②「安全・安心」「情報モラル」「いじめ」「いのち」「じぶん」という5つのユニットが、バランスよく各学年ともに構成されており、道徳科の学習で扱う教材を要として、現代的な課題に全ての学年で取り組むことができるよう工夫されており、特に優れている。

Ⅳ 令和6年度～令和9年度使用 小学校教科用図書見本送付一覧

教科・種目		記号・発行者名・略称															発行者数	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		P
		東京書籍 株式会社	大日本図書 株式会社	開隆堂出版 株式会社	学校図書 株式会社	株式会社 三省堂	教育出版 株式会社	株式会社 教育芸術社	一般社団法人 信州教育出版社	光村図書出版 株式会社	株式会社 帝国書院	株式会社 新興出版社啓林館	日本文教出版 株式会社	株式会社 大修館書店	株式会社 文教社	株式会社 光文書院		株式会社 Gakken
		東書	大日本	開隆堂	学図	三省堂	教出	教芸	信教	光村	帝国	啓林館	日文	大修館	文教社	光文	学研	
国語	国語	○					○			○								3
	書写	○					○			○								3
社会	社会	○					○						○					3
	地図	○									○							2
算数		○	○		○		○					○	○					6
理科		○	○		○		○		●			○						5
生活		○	○		○		○		●	○		○						6
音楽							○	○										2
図画工作				○									○					2
家庭		○		○														2
体育	保健	○	○											○	○	○	○	6
外国語	英語	○		○		○	○			○		○						6
特別の教科 道徳		○					○			○			○			○	○	6
発行教科数		11	4	3	3	1	9	1	2	5	1	4	4	1	1	2	2	

○送付のあったもの

●送付のなかったもの

V 出雲採択地区教科用図書採択協議会委員名簿

市町名	委員氏名	備考
出雲市	的地 慶典	出雲市PTA連合会 会長
出雲市	杉谷 学	出雲市教育委員会 教育長
雲南市	加藤 真一	雲南市立掛合小学校 PTA会長
雲南市	景山 明	雲南市教育委員会 教育長
奥出雲町	石原 誠太郎	奥出雲町PTA連合会 会長
奥出雲町	松田 武彦	奥出雲町教育委員会 教育長
飯南町	薬師寺 良樹	飯南町立赤名小学校 PTA会長
飯南町	大谷 哲也	飯南町教育委員会 教育長

VI 採択協議会開催状況

採択協議会	開催日	会場	協議内容等
第1回	令和5年5月12日	出雲市役所 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、職務代理者の選出 ・採択日程（案）の承認 ・令和5年度予算（案）の承認 ・令和6年度使用小学校教科用図書の採択にあたっての「採択の観点」の検討
第2回	平成5年7月18日	出雲市役所 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度使用小学校教科用図書の選定